

～「元気 ふれあい 安心のまち 海南」を目指して～

本市では、これまで、平成19年3月に策定した「第1次海南市総合計画」に基づき、道路などの社会基盤整備や防災・減災対策の強化、子育て支援をはじめとする各種の取組を進めて参りました。



海南医療センターの新築移転、津波避難場所の整備、市庁舎の移転、大型商業施設の誘致、子ども医療費助成の拡充、新たな子ども園の整備などに取り組み、安心・安全の実現、また、活力あるまち、魅力あるまちの実現に向け歩みを進めています。

一方で、これまでの取組を継承することに加え、本格的な人口減少社会への突入など本市を取り巻く環境の変化、さらには暮らしの質に対する市民意識の高まりなど、今日におけるまちづくりの新たな課題に対する柔軟かつ的確な対応が求められています。

このような状況を踏まえ、「第2次海南市総合計画」では、将来像を「元気 ふれあい 安心のまち 海南」とし、今後4年間で特に重点的に取り組むべき施策を「住みやすいまちづくりプロジェクト」として掲げ、より多くの方が「住み続けたい」、「住んでみたい」と思うまちとなるよう、地域や市民、事業者など皆様の知恵を結集し、引き続き、果敢に挑戦していきたいと考えています。

最後に、本計画の策定にあたりまして、慎重なご審議を賜りました海南市総合計画審議会委員の皆様、そして、貴重なご意見、ご提言をいただきました市議会や市民の皆様に対しまして、心から厚く御礼を申し上げます。

平成29年9月

海南市長

神出政巳

はじめに

旧海南市と旧下津町の新設合併によって新たに誕生した『海南市』では、平成 18 年度に「元 気 ふれあい 安心のまち 海南」を将来像とした『第 1 次海南市総合計画』を策定し、市民にとって暮らしやすく、魅力のあるまちづくりに努めてきました。

第 1 次海南市総合計画に基づく 10 年間の取組を終えた現在においても、地方行政を取り巻く状況は依然として厳しく、人口減少対策や防災・減災対策をはじめ、各施策分野における様々な課題に対し、なお一層的確な対応が求められています。

このことから、引き続き、長期的な視点から将来のまちのあるべき姿を見据えたまちづくりの方向性を明確にするため、『第 2 次海南市総合計画』を策定します。

基本構想

平成 29 年度からおおむね 10 年後の将来と本市の進むべき方向を明確にし、目指すべきまちの姿を示します。

基本計画

基本構想の実現に向け、平成 29 年度から平成 32 年度までの 4 年間に実施する施策・事業や、その展開方針を体系的に定めます。また、特に重点的に行政資源を投入し、取組を進める施策・事業については、重点プロジェクトとして位置付けます。



将来像

元気 ふれあい 安心のまち 海南

市民が、いきいきとした暮らしを実現できるよう、人口減少や地域経済の低迷、厳しい財政状況など本市を取り巻く様々な課題に対応しながら、まちづくりを進める必要があります。

市民一人ひとりが、この地で暮らすことに自信と誇りを持ち、幸せを感じながら未来へと歩みを進めつつ、市民と手を携え、本市の個性やまちの魅力を最大限に生かし、課題解決に取り組むことで、元気なまち、安心な暮らし、そして、人々がふれあい、笑顔があふれる地域社会の実現を目指します。



まちづくりの目標

政策目標 1 快適な暮らしを支える

市民が快適に日常生活を送ることができるよう、社会基盤の適正な整備・充実を目指します。また、将来を支える若者世代を魅了する快適な地域づくりを目指します。

基本施策

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 基本施策 1-1 道路・交通網の整備 | 基本施策 1-4 環境の保全 |
| 基本施策 1-2 良質な住環境の整備 | 基本施策 1-5 水の安定供給 |
| 基本施策 1-3 河川・排水路の整備 | |

指標

身近な道路が整備されていると感じている市民の割合	61.1% (H28)	▶▶▶	目標値 70.0% (H32)
快適な居住環境が整っていると感じている市民の割合	31.8% (H28)	▶▶▶	目標値 37.0% (H32)

政策目標 2 まちの元気をつくりだす

各産業の振興、移住・交流促進に取り組み、元気がみなぎる地域社会、多様な人々が交流し、にぎわうまちの実現を目指します。

基本施策

- | | |
|-------------------|----------------|
| 基本施策 2-1 農林水産業の振興 | 基本施策 2-3 観光の振興 |
| 基本施策 2-2 商工業の振興 | |

指標

市内の農林水産業が活性化していると感じている市民の割合	37.6% (H28)	▶▶▶	目標値 40.0% (H32)
市内の商工業が活性化していると感じている市民の割合	13.2% (H28)	▶▶▶	目標値 20.0% (H32)

政策目標3 心豊かな人を育む

市民が互いに認め合い、ふるさとに誇りと愛着を持って暮らすまちを目指します。また、次世代を担う子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、豊かな人間性とたくましく生きる力を育みます。

基本施策

- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 基本施策 3-1 | 学校教育の充実 | 基本施策 3-4 | スポーツの振興 |
| 基本施策 3-2 | 生涯学習の充実 | 基本施策 3-5 | 人権尊重の推進 |
| 基本施策 3-3 | 文化の振興 | | |

指標

小中学校の教育に対する保護者の満足度	84.5% (H28)	▶▶▶	目標値 87.0% (H32)
生涯学習活動に取り組む市民の割合	59.1% (H28)	▶▶▶	目標値 70.0% (H32)

政策目標4 安心なくらしを守る

市民が健康で自分らしく、いきいきとした生活を安心して送ることができるよう、互いにいたわり、支え合う、温かい地域社会の実現を目指します。

基本施策

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------------|
| 基本施策 4-1 | 社会福祉の充実 | 基本施策 4-4 | 保健・医療の推進 |
| 基本施策 4-2 | 児童福祉の充実 | 基本施策 4-5 | 医療保険・年金制度の健全な運営 |
| 基本施策 4-3 | 高齢者福祉の充実 | | |

指標

子育てしやすいまちだと感じている保護者の割合	86.6% (H28)	▶▶▶	目標値 88.0% (H32)
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	70.9% (H28)	▶▶▶	目標値 85.0% (H32)

政策目標 5 まちの安全を確保する

あらゆる危機・危険から、市民の安全を守るための取組を進め、市民が安心して生活を送ることのできるまちを目指します。

基本施策

基本施策 5-1 防災・減災対策の推進 基本施策 5-3 防犯・交通安全対策の推進
基本施策 5-2 消防・救急体制の充実

指標

防災・減災対策に対する市民の満足度	41.3% (H28)	▶▶	目標値 45.3% (H32)
火災・救急搬送・救助の体制に対する市民の満足度	53.7% (H28)	▶▶	目標値 60.0% (H32)

政策目標 6 持続可能な行財政運営

市民と共に歩むまちづくりを進め、市民に信頼される行政運営を目指します。また、最少の経費で最大の効果を上げる行財政運営の実現を目指します。

基本施策

基本施策 6-1 開かれた市政の推進 基本施策 6-3 効果的・効率的な行財政運営
基本施策 6-2 協働のまちづくり

指標

市からの情報提供に満足している市民の割合	52.4% (H28)	▶▶	目標値 60.0% (H32)
効率的な行政が行われていると感じている市民の割合	35.8% (H28)	▶▶	目標値 50.0% (H32)

施策体系図

基本構想

将来像

元気 ふれあい 安心のまち 海南

政策目標 1
快適な暮らしを支える

政策目標 2
まちの元気をつくりだす

政策目標 3
心豊かな人を育む

政策目標 4
安心な暮らしを守る

政策目標 5
まちの安全を確保する

政策目標 6
持続可能な行財政運営

基本計画

重点プロジェクト

住みやすいまちづくりプロジェクト

安心・安全のまちづくり 元気・ふれあいのまちづくり

優先的かつ重点的に行政資源を投入する事業を抽出

基本施策 1-1 道路・交通網の整備

基本施策 1-4 環境の保全

基本施策 1-2 良質な住環境の整備

基本施策 1-5 水の安定供給

基本施策 1-3 河川・排水路の整備

基本施策 2-1 農林水産業の振興

基本施策 2-3 観光の振興

基本施策 2-2 商工業の振興

基本施策 3-1 学校教育の充実

基本施策 3-4 スポーツの振興

基本施策 3-2 生涯学習の充実

基本施策 3-5 人権尊重の推進

基本施策 3-3 文化の振興

基本施策 4-1 社会福祉の充実

基本施策 4-4 保健・医療の推進

基本施策 4-2 児童福祉の充実

基本施策 4-5 医療保険・年金制度の健全な運営

基本施策 4-3 高齢者福祉の充実

基本施策 5-1 防災・減災対策の推進

基本施策 5-3 防犯・交通安全対策の推進

基本施策 5-2 消防・救急体制の充実

基本施策 6-1 開かれた市政の推進

基本施策 6-3 効果的・効率的な行財政運営

基本施策 6-2 協働のまちづくり

重点プロジェクト

住みやすいまちづくりプロジェクト

近年、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、物質的、量的な豊かさだけでなく、暮らしの質的向上が要求される時代へと変化しており、まちづくりにおいても、人口規模といった量的な豊かさだけを追求するのではなく、本市に暮らす人々が日々の暮らしの中で幸せを実感できるよう、新たな視点からの施策展開が求められています。

このような状況を踏まえ、本計画期間においては、一定の人口規模の縮小を受入れながらも、「住み続けたい」、「住んでみたい」と思えるまちとなるよう、市民の安心、安全、そして元気な暮らしを実現するための施策について、優先的かつ重点的に行政資源を投入します。

(1) 安心・安全のまちづくり

- ◆ 和歌山下津港海岸（海南地区）直轄海岸施設整備事業
- ◆ （仮称）中央防災公園整備事業（海南市中央公園の拠点化）
- ◆ 業務継続計画策定事業
- ◆ 岡田地区浸水対策事業、日方地区浸水対策事業
- ◆ 防災行政無線デジタル化事業
- ◆ 新庁舎整備事業
- ◆ 空家対策事業（リフォーム工事補助、老朽危険空家除却工事補助）
- ◆ 学童保育事業
- ◆ みらい子ども園整備事業
- ◆ 中学校給食導入事業

(2) 元気・ふれあいのまちづくり

- ◆ （仮称）市民交流施設整備事業
- ◆ （仮称）中央防災公園整備事業（海南市中央公園の拠点化）
- ◆ 創業促進事業
- ◆ ハローワークとの連携
- ◆ 店舗リフォーム工事補助事業
- ◆ 立地適正化計画策定事業
- ◆ 道路新設改良事業

基本施策

政策目標 1 快適なくらしを支える

基本施策 1-1 道路・交通網の整備

道路や橋梁の計画的な補修等を行うとともに、県道等の幹線道路の整備促進に努めます。また、市民の身近な交通手段である公共交通のネットワークの維持・確保に努めます。

主な事業

- ◆ 地域公共交通協議会事業
- ◆ 認定外道路修繕事業
- ◆ 道路新設改良事業
- ◆ 橋梁維持事業

指標

コミュニティバス利用者数（年間）	23,419人(H28)	▶▶▶	目標値	32,000人(H32)
市道改良率	39.5%(H28)	▶▶▶	目標値	40.0%(H32)

基本施策 1-2 良質な住環境の整備

公園の整備、区画整理事業による住宅地としての基盤整備、計画的な市営住宅の整備・改修など、魅力的でコンパクトな地域づくり、また、誰もが住み続けたいと思うまちづくりを進めます。

主な事業

- ◆ 立地適正化計画策定事業
- ◆ 住宅リフォーム工事補助事業
- ◆ 老朽危険空家除却工事補助事業
- ◆ 公園施設長寿命化事業
- ◆ 市営住宅等整備事業
- ◆ (仮称)中央防災公園整備事業
- ◆ 空家リフォーム工事補助事業
- ◆ 空き家バンク事業
- ◆ 海南駅東土地区画整理事業
- ◆ 地籍調査事業

指標

空家の利用促進に係るPR活動実施回数（年間）	—	▶▶▶	目標値	5回(H32)
海南駅東土地区画整理事業進捗率	36.9%(H28)	▶▶▶	目標値	49.8%(H32)
地籍調査進捗率	78.9%(H28)	▶▶▶	目標値	95.8%(H32)

基本施策 1-3 河川・排水路の整備

県が管理する河川改修について、早期の完成を促進します。また、排水路やポンプ施設の整備など、浸水被害の低減に向けた取組を進めます。

主な事業

- ◆ 河川・排水路整備事業
- ◆ 岡田地区浸水対策事業
- ◆ 排水ポンプ新設・更新事業
- ◆ 日方地区浸水対策事業

指標

排水ポンプの新設・更新基数（計画期間内累計）	—	▶▶▶	目標値	5基(H32)
------------------------	---	-----	-----	---------

基本施策 1-4 環境の保全

環境汚染の未然防止、ごみ処理体制の充実、リサイクルの促進、省エネルギー対策など総合的かつ計画的に環境問題の解決に取り組みます。

主な事業

- ◆ スtockヤード整備事業
- ◆ 浄化槽整備等事業
- ◆ 不法投棄ごみ撤収事業
- ◆ 地域美化活動推進事業

指標

汚水処理率	34.0% (H28)	▶▶▶	目標値	42.4% (H32)
市民一人1日当たりのごみ排出量	1,022g (H28)	▶▶▶	目標値	980g (H32)
再資源化されているごみの割合	14.5% (H28)	▶▶▶	目標値	20.0% (H32)

基本施策 1-5 水の安定供給

安定的な給水体制を確立するため、水道施設の計画的な整備・更新を行うとともに、水道事業会計の健全な運営に努めます。

主な事業

- ◆ 導水管更新事業
- ◆ 海南・下津水道施設整備事業
- ◆ 水道施設再構築計画策定事業
- ◆ 出島水源地導水施設更新事業
- ◆ 海南下津相互連絡管布設事業

指標

水道施設改修箇所数(計画期間内累計)	—	▶▶▶	目標値	18箇所 (H32)
有収率	77.4% (H28)	▶▶▶	目標値	78.0% (H32)



政策目標 2 まちの元気をつくりだす

基本施策 2-1 農林水産業の振興

新たな人材の確保・育成や販路開拓、高付加価値化を進めるとともに、ほ場など生産基盤の整備に取り組み、農林水産業の持続的な発展に努めます。

主な事業

- ◆ 新規就農者支援事業
- ◆ 有害鳥獣対策事業
- ◆ 高品質果樹生産拡大対策事業
- ◆ 中山間地域等直接支払交付金事業
- ◆ 県営ほ場整備事業
- ◆ 準農家制度事業
- ◆ 地域ブランド推進事業
- ◆ 軽トラック市開催事業
- ◆ 多面的機能支払事業
- ◆ 漁港保全事業

指標

市の支援策による新規就農者数 (計画期間内累計)	—	▶▶▶	目標値 24 人 (H32)
優良農地の確保面積	2,087.1ha (H28)	▶▶▶	目標値 2,176.7ha (H32)

基本施策 2-2 商工業の振興

中小企業の支援と新規創業の促進、商店街の機能を維持するための取組を進めるとともに、地元企業の就職情報等の発信を行い、若年者の地元就職・定住を促進します。

主な事業

- ◆ 家庭用品産業振興事業
- ◆ 地場産品販路拡大事業
- ◆ ものづくり創造支援事業
- ◆ 創業促進事業
- ◆ 新卒就職マッチング事業
- ◆ ハローワークとの連携
- ◆ 伝統工芸事業
- ◆ 中小企業設備投資促進事業
- ◆ 店舗リフォーム工事補助事業
- ◆ 製造業市内回帰支援事業
- ◆ 頑張る商店街支援事業

指標

市の支援策を活用した新規創業者件数 (計画期間内累計)	—	▶▶▶	目標値 36 件 (H32)
地元就職情報配信登録者数 (年間)	27 人 (H28)	▶▶▶	目標値 200 人 (H32)

基本施策 2-3 観光の振興

観光資源の特徴を生かしたイベントの開催など観光地としての魅力の発信に努めるとともに、市が管理する観光施設の計画的な改修を行います。

主な事業

- ◆ 漆器体験開催事業
- ◆ コンパクト観光圏形成事業
- ◆ 市観光協会運営事業
- ◆ 和歌の浦日本遺産活用推進事業
- ◆ 熊野古道等ハイキングイベント支援事業
- ◆ 観光情報発信事業
- ◆ 観光施設整備事業

指標

市内主要観光施設への来館者数 (年間)	212,672 人 (H28)	▶▶▶	目標値 250,000 人 (H32)
物産観光センターの利用者数 (年間)	46,078 人 (H28)	▶▶▶	目標値 50,000 人 (H32)

政策目標 3 心豊かな人を育む

基本施策 3-1 学校教育の充実

次代を担う子どもの「生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）」を育むため、教育内容の充実、教職員の資質・能力の向上、施設・設備の整備等に努めます。

主な事業

- ◆ 預かり保育事業
- ◆ 小学校英語活動推進事業
- ◆ 学校施設整備事業
- ◆ 教育相談事業
- ◆ 中学校給食導入事業
- ◆ 学校適正規模の検討

指標

読書が好きな市内児童・生徒の割合	70.1% (H28)	▶▶▶	目標値	75.0% (H32)
全国学力・学習状況調査（小学校）における市内児童の平均正答率	全国平均 +3.6 ポイント (H28)	▶▶▶	目標値	全国平均 +5.0 ポイント (H32)
全国学力・学習状況調査（中学校）における市内生徒の平均正答率	全国平均 +5.6 ポイント (H28)	▶▶▶	目標値	全国平均 +7.0 ポイント (H32)
全国体力・運動能力等調査における市内児童・生徒の平均点数	46.1 点 (H28)	▶▶▶	目標値	50.0 点 (H32)

基本施策 3-2 生涯学習の充実

市民が生涯にわたって学習できるよう、魅力あるプログラムの提供や環境づくりを進め、幅広い世代の人々の自主的・主体的な学習活動を支援します。また、関係団体や地域住民と連携し、青少年の健全育成や子育て支援につながる事業に取り組みます。

主な事業

- ◆ 生きがい教室事業
- ◆ 下津地域公民館活動事業
- ◆ 子育て支援ネットワーク事業
- ◆ 公民館運営事業
- ◆ (仮称) 市民交流施設整備事業
- ◆ 地域共育コミュニティ事業

指標

市民一人当たりの生涯学習活動への参加回数（年間）	4.0 回 (H28)	▶▶▶	目標値	4.5 回 (H32)
--------------------------	-------------	-----	-----	-------------

基本施策 3-3 文化の振興

文化芸術団体の活動支援や文化資産の保護・保存、地域の文化活動を支える新たな図書館の設置等、文化の振興に努めます。

主な事業

- ◆ 琴ノ浦温山荘保存整備事業
- ◆ (仮称) 市民交流施設整備事業【再掲】
- ◆ 国指定史跡・熊野参詣道（紀伊路）保存整備事業

指標

市民一人当たりの文化施設利用回数（年間）	1.74 回 (H28)	▶▶▶	目標値	2.35 回 (H32)
市民一人当たりの図書館利用回数（年間）	1.63 回 (H28)	▶▶▶	目標値	2.12 回 (H32)

基本施策3-4 スポーツの振興

誰もがスポーツに親しむことができるよう、スポーツイベントの実施や効果的・効率的な施設整備に努めます。また、スポーツ指導者の養成や確保を図りながら、子どもの体力・運動能力の向上に努めます。

主な事業

- ◆ 社会体育施設整備事業
- ◆ 子どもの体力向上事業
- ◆ きのくに海南歩っとウオーク事業
- ◆ 市民体育事業

指標

スポーツイベント参加者数（年間）	9,256人(H28)	▶▶▶	目標値	10,000人(H32)
社会体育施設利用者数（年間）	410,349人(H28)	▶▶▶	目標値	415,000人(H32)

基本施策3-5 人権尊重の推進

市民一人ひとりが人権問題を自らの問題であると認識し、人権尊重の取組を実践することが重要であることから、多様な人権教育の実施や人権問題について啓発活動に取り組みます。

主な事業

- ◆ 人権啓発事業
- ◆ かいなん人権フェスティバル開催事業
- ◆ 人権に関する相談事業
- ◆ 男（ひと）と女（ひと）のつどい開催事業

指標

市の審議会等に占める女性委員の割合	31.3%(H28)	▶▶▶	目標値	40.0%(H32)
人権啓発イベントへの参加者数（年間）	3,751人(H28)	▶▶▶	目標値	4,750人(H32)



政策目標 4 安心な暮らしを守る

基本施策 4-1 社会福祉の充実

誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、地域における福祉意識の醸成や、支援体制の充実に努めます。

主な事業

- ◆ 社会福祉協議会補助事業
- ◆ 障害者自立支援給付事業
- ◆ 地域支援拠点整備事業
- ◆ 生活保護扶助事業
- ◆ 民生委員・児童委員活動事業
- ◆ 障害者地域生活支援事業
- ◆ グループホーム整備費補助事業
- ◆ 生活困窮者自立支援事業

指標

福祉ボランティア登録者数	693 人 (H28)	▶▶▶	目標値	750 人 (H32)
市内における設置サロン数	14 箇所 (H28)	▶▶▶	目標値	22 箇所 (H32)

基本施策 4-2 児童福祉の充実

保育のニーズが多様化する中、子育てに対する心身の負担や経済的負担を軽減し、地域の中で安心して子どもを産み育てられる体制を構築します。

主な事業

- ◆ 子ども医療費助成事業
- ◆ 学童保育事業
- ◆ 地域子育て支援センター運営事業
- ◆ ファミリーサポートセンター事業
- ◆ みらい子ども園整備事業
- ◆ 結婚促進事業

指標

一時保育利用者数（年間）	186 人 (H28)	▶▶▶	目標値	600 人 (H32)
地域子育て支援センター利用者数（年間）	10,083 人 (H28)	▶▶▶	目標値	13,000 人 (H32)
ファミリーサポートセンター利用件数（年間）	1,553 件 (H28)	▶▶▶	目標値	1,800 件 (H32)

基本施策 4-3 高齢者福祉の充実

高齢者の生きがいづくりや居場所づくり、在宅生活の支援など、住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備します。

主な事業

- ◆ 介護予防・生活支援サービス事業
- ◆ 介護予防ケアマネジメント事業
- ◆ 認知症サポーター養成事業
- ◆ 在宅医療・介護連携推進事業
- ◆ いきいき介護予防事業
- ◆ 生活支援サービスの基盤整備事業
- ◆ 地域介護予防活動支援事業

指標

認知症サポーター養成者数	5,487 人 (H28)	▶▶▶	目標値	7,000 人 (H32)
介護予防自主活動グループ数	62 グループ (H28)	▶▶▶	目標値	74 グループ (H32)

基本施策 4-4 保健・医療の推進

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援、また、がん検診などライフステージに合わせた保健事業の実施や地域医療の確保など、元気で活動的に暮らすための取組を進めます。

主な事業

- ◆ がん検診事業
- ◆ 妊婦健康管理事業
- ◆ 予防接種事業
- ◆ 休日当番医制事業
- ◆ 特定健康診査事業
- ◆ 乳幼児健康診査事業
- ◆ 不妊治療費扶助事業
- ◆ 子育て世代包括支援センター設置事業

指標

かかりつけ医を持つ市民の割合	72.3% (H28)	▶▶▶	目標値	80.0% (H32)
がん検診平均受診率	28.3% (H28)	▶▶▶	目標値	50.0% (H32)
乳幼児健診受診率	99.3% (H28)	▶▶▶	目標値	100% (H32)

基本施策 4-5 医療保険・年金制度の健全な運営

関連機関との連携を図り、国民健康保険及び後期高齢者医療制度の安定した運営を図ります。また、国民年金制度の啓発等により、市民の年金受給権の確保に努めます。

主な事業

- ◆ 国民健康保険事業
- ◆ 国民年金事業
- ◆ 後期高齢者医療事業

指標

国民健康保険税の収納率	94.0% (H28)	▶▶▶	目標値	95.0% (H32)
国民健康保険の後発医薬品使用割合	70.2% (H28)	▶▶▶	目標値	80.0% (H32)



政策目標 5 まちの安全を確保する

基本施策 5-1 防災・減災対策の推進

行政が迅速かつ適切に業務を遂行できる体制の整備・充実をはじめ、住宅の耐震化や地域防災リーダーの育成など、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策に取り組みます。

主な事業

- ◆ 住宅耐震化事業
- ◆ 土砂災害対策事業
- ◆ 和歌山下津港係留施設整備事業
- ◆ 津波避難場所等整備事業
- ◆ 備蓄物資整備事業
- ◆ 自主防災組織育成事業
- ◆ (仮称) 中央防災公園整備事業【再掲】
- ◆ ため池等災害危機管理対策事業
- ◆ 防災行政無線デジタル化事業
- ◆ 和歌山下津港海岸(海南地区)直轄海岸施設整備事業
- ◆ 避難行動要支援者台帳整備事業
- ◆ 地域防災活動支援事業
- ◆ 業務継続計画策定事業

指標

備蓄物資の備蓄率	85.9%(H28)	▶▶▶	目標値	100%(H32)
防災行政無線デジタル化工事進捗率	—	▶▶▶	目標値	100%(H32)
重点地区防災訓練実施地区数 (計画期間内累計)	—	▶▶▶	目標値	9地区(H32)
防災士資格取得者数	43人(H28)	▶▶▶	目標値	60人(H32)

基本施策 5-2 消防・救急体制の充実

消防本部及び消防団の施設・装備等の整備や専門的な教育訓練の実施により、消防・救急体制の強化に努めます。また、消防団協力事業所の普及や市民への応急手当の知識と技術の普及に努めます。

主な事業

- ◆ 消防施設等整備事業
- ◆ 消防大学校等派遣事業
- ◆ 応急手当普及啓発事業
- ◆ 消防広域連携強化事業
- ◆ 消防団活性化事業
- ◆ 火災予防推進事業

指標

救命講習受講者数	6,657人(H28)	▶▶▶	目標値	8,200人(H32)
消防訓練指導回数(年間)	47回(H28)	▶▶▶	目標値	55回(H32)
消防団協力事業所数	7事業所(H28)	▶▶▶	目標値	11事業所(H32)

基本施策 5-3 防犯・交通安全対策の推進

防犯灯や防犯カメラの設置による防犯環境の整備、市民の防犯意識の醸成・高揚、交通安全対策の充実に取り組み、市民の安心・安全な日常生活を確保します。

主な事業

- ◆ 防犯対策推進事業
- ◆ 交通安全啓発事業
- ◆ 消費者生活相談事業

指標

市内犯罪認知件数(年間)	230件(H28)	▶▶▶	目標値	180件(H32)
市内交通事故件数(年間)	112件(H28)	▶▶▶	目標値	100件(H32)

政策目標 6 持続可能な行財政運営

基本施策 6-1 開かれた市政の推進

新鮮な情報を、広く市内外に発信します。また、市民が市政に提言できる手段の確保、市民との情報共有、さらに、市民ニーズに合った情報公開制度の運用に努めます。

主な事業

- ◆ ホームページ運営・管理事業
- ◆ フェイスブック運用事業
- ◆ 市政懇談会事業
- ◆ 市政目安箱事業
- ◆ 統計かいなん作成事業
- ◆ オープンデータ基盤整備・利活用推進事業

指標

市ホームページへのアクセス件数 (年間)	791,638 件 (H28)	▶▶▶	目標値	960,000 件 (H32)
オープンデータ公開件数	7 件 (H28)	▶▶▶	目標値	50 件 (H32)

基本施策 6-2 協働のまちづくり

市民・NPO団体・企業・行政等が一体となってまちづくりに取り組むため、協働のまちづくりに対する意識の高揚を図り、市民・NPO団体・企業等の活動機会の創出に努めます。

主な事業

- ◆ 自治会活動支援事業
- ◆ 市民協働指針策定事業

指標

協働によるまちづくりに参加したいと 考えている市民の割合	42.8% (H28)	▶▶▶	目標値	50.0% (H32)
---------------------------------	-------------	-----	-----	-------------

基本施策 6-3 効果的・効率的な行財政運営

質の高い行政サービスを維持しつつ、多様なニーズ・課題に適切に対応するため、公共施設の総量削減やICTの活用、業務の効率化などに取り組み、持続可能な行財政運営を目指します。

主な事業

- ◆ 行政改革推進事業
- ◆ 公有財産管理事業
- ◆ 新庁舎整備事業
- ◆ 公衆無線LAN整備事業
- ◆ 連携中枢都市圏形成事業

指標

個人番号（マイナンバー）カード取得率	9.2% (H28)	▶▶▶	目標値	25.0% (H32)
市税収納率	99.3% (H28)	▶▶▶	目標値	99.5% (H32)

第2次海南市総合計画
-概要版-



海 南 市